



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第46号

例会日/2015年6月25日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

・委員長スピーチ
・会長スピーチ
*会長バッジの引き継ぎ

丹治 正博 会長

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

- 開会点鐘 丹治正博 会長
- ロータリーソング
- 「福島ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 渡邊又夫 会員
- 「四つのテスト」唱和 反後太郎 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 退会挨拶 今井吉之 会員
- 会長挨拶 丹治正博 会長
- 食 事
- 幹事報告 坪井大雄 幹事
- 各委員会報告
- プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 今井理基夫 委員



最終例会あいさつ

二〇一四―一五年度会長 丹治 正博

笏とバッジ

ここにあるのは、私が神職として奉仕する際に、欠かせぬ持ち物、「笏(しゃく)」であります。笏は、中国から伝来したもので、我が国では大宝律令にその記述が見えますが、朝廷に仕える男性の官吏が装束を著用した際に持ったものです。そもそも笏は何のために用いるものかと申しますと、現在の私ども神職が笏を用いる用途は、神さまに敬意を表すための、姿勢を正す定規であります。神職は、神事のさまざまな局面で、角度の異なるお辞儀がありますが、この笏によってお辞儀の軽重を使い分けているのです。したがって



◎本日のプログラム

開会点鐘 丹治正博 会長

注目したいと思います。

ロータリアンのつける徽章としては、例会で用いられる名札がありますが、これが本来のバッジ(Badge)とされ、この他に襟に着用する小型の徽章(Emblem)があります。日本では、一般にこれをバッジと言っていますが、厳密には正しい名称ではありません。かつてポー

バッジ着用はロータリアンの義務か

RIの定款第十三条 会員の称号と徽章により「クラブの各正会員はロータリアンとして認められ、RIの徽章、バッジまたはその他の記章を着用する権利を与えられるものとす」と書かれています。ご承知の通り、ロータリアンの三大義務といわれているのが「例会の出席」「会費の納入」「雑誌の購読」の三つであります。バッジ着用は義務ではなく、与えられている権利ということに注目したいと思います。



ル・ハリスは「ロータリーのバッジは資質の保証となるべきものでなくてはならない」と述べているように、ロータリアンにとって、バッジは単なる標識ではありません。これを補足して申し上げれば、ロータリアン一人一人の個人の生活において、事業活動において、そして社会活動において、常に思いやりや、人のためという、奉仕の理想を実践する心構えを自覚するためのもの、それがロータリアンにとってのバッジと言えるでしょう。

それゆえにロータリアンは、ロータリーに対する公共的イメージをあげるために、仕事や社交の場でロータリーのバッジを着用し、これを信用と奉仕の象徴としなければなりません。ロータリーのバッジを着けていけば、国内はもとより、世界中このロータリークラブの例会にも出席することが出来ます。そして、あらゆるロータリアンと知り合いになり、親睦を通して見聞を広め、品性を磨きながら奉仕を行うことができます。

ロータリアンバッジ着用心にも



幡研一会長エレクトへ会長バッジの引き継ぎを行いました。

会長スピーチ

丹治 正博 会長



一年を振り返って

本日は、私の会長年度の最終例会となりました。この一年を振り返る総括の会長・幹事スピーチを申し上げるのが慣例ではありますが、ロータリークラブは会長と幹事だけで動かしているわけではございません。この一年、私どもの思いを各委員会の委員長さん方に形にして頂くにあたり、大変お世話になりました。会長・幹事ともども感謝に堪えない次第でございます。そこで、今日は少し趣向を変えて、私の年度で汗をかいて頂いた委員長さん方に、一言ずつ感想を述べて頂きながら、一緒にこの一年を振り返ることと致したいと思っております。

● SAA (会場監督)

氏川 守義 SAA



例会運営の規律を正すために、SAA本来の任務を明確化し、例会開始の許可を宣することを始め、座席の流動化(月1回実施)、「敬聴」の掲示(スピーチ中の私語を慎む)、四つのテストの毎例会唱和(ロータリー歴の浅い会員による)を行いました。これらの取り組みにより、SAAの存在感が増し、規律ある締まった例会になったと感じております。

● クラブ奉仕委員会

会員選考・増強・職業分類・出席小委員会

古俣 猛 委員長



当初目標の5名純増を達成することが出来ました。また、毎例会の出席率も目立って改善しました。

● ロータリー情報・クラブ会報・資料小委員会

増子 勉 委員長



クラブ会報は、会員各位のご協力で1号も欠けることなく発行出来ました。今年度は、会長の指示で和風の体裁に加えて、縦組み横組みの併用で誌面に変化をもたせました。新会員セミナーは成果を上げることが出来ました。

● 広報マルチメディア・雑誌小委員会

佐藤 武彦 委員長



ホームページについては、デザインを刷新し、速報性を向上させました。特に今年度は会長スピーチと豆知識を中心とした記事により、読み応えのある内容になりました。「ロータリーの友」紹介は委員のやりくりにも苦労しました。そのほか12回目の「マスコミ懇談会」を開催し、地区目標の一つ「ロータリーイメージと認知度の向上」に成果をあげました。

● 親睦ロータリー家族小委員会

菅野 晴隆 委員長



今年度は何も分からない中で委員長を仰せつかり不安でしたが、会長、幹事、役員の皆様のお世話になりながら、クラブの恒例行事を無事にこなすことが出来ました。また、今年は丹治会長から、特に転勤族で福島が不案内の会員向けに、美味しいお店情報を提供する「私の隠れ家」発行の指示もあり、委員会開催は13回の多きにのぼり、各店の取材には相良副委員長を始め委員の多大なご協力を頂きました。その分、委員会内での交流親睦が図れたのは何よりでした。そうした意味で私自身にとっても大変勉強になった一年でした。

● プログラム・ニコニコBOX小委員会

右近 八郎 委員長



ロータリーとは、ある意味自己研鑽の場であると思いますが、プログラムとニコニコBOXは毎例会に関わる業務であり、大変な仕事です。実態は、事務局の大関さんのご協力によるところが大きく、出来れば委員のみでこなせば良いのですが。プログラム編成にあたり、ゲストスピーチを充実させたいとの考えを持っておりましたが、例会内容が過密であることから、思うにまかせず、反省点となりました。ニコニコBOXにおける発表順番は、ロータリー歴の浅い会員を先とし、例会で発言機会の多い会長、幹事は後にすることを心掛けたほか、ニコニコBOX本来の意味や相応しいメッセージの例などを周知した結果、社会奉仕のための活動資金醸成に些かでも資することが出来たと思います。その結果、本日までの累計が2,535,000円となり、3年連続250万円越えとなりました。

● 職業奉仕委員会

菅野 晋 委員長



職場訪問例会は例年2回のところ、本年度は3回実施致しました。10月のヤクルト本社福島工場、4月のJRA福島競馬場、5月の東北電力女川原子力発電所視察で、いずれも有意義な例会となりました。また、例年月1回の「四つのテスト」唱和を、毎例会時に実施致しました。若い会員に交代で唱和の先導を行って頂くことで、着実に成果が上がったものと感じております。

● 社会奉仕委員会

森川 英治 委員長



この1年間、社会的弱者に光りを当てよう、との趣旨で以下の事業を実施致しました。

- ①「障害ある人々への支援」授産施設との連携を深め、夜間例会時の土産などに製品を積極的に使用する。
- ②2014 - 2015年度地区復興補助金を活用しての「福島大学子どものメンタルヘルス支援事業、車両、寄付金贈呈」ロータリーの友12月号に紹介されたほか、地区大会特集新聞広告にも取り上げられました。

ロータリークラブとライオンズクラブの違い

今年度の豆知識の締めくくりにあたり、ライオンズクラブとの比較を通して、あらためてロータリークラブを見つめ直してみたいと思います。

どちらの公式サイトにも、他方への言及はありません。広く一般に知られている両者の違いを概観すると、『両者の違いは、実務面では殆ど相違がありません。しかしあえて言えば、ロータリークラブは、1905年アメリカのシカゴでポール・ハリスによって設立された職業倫理の高揚を学び一人一人の職業を通して社会に如何に奉仕するかと言う職業奉仕を重点に、I Serve (私は奉仕する) を理念とした団体です。これに対して、ライオンズクラブは1917年アメリカのダラスで元ロータリークラブ会員だったメルビン・ジョーンズの提唱により誕生した社会奉仕を重点に、We Serve (我々は奉仕する) を理念とした団体です。しかし、ロータリークラブの活動でも、We Serveの活動は多く見られます。また、ロータリークラブは週1回の例会開催に対し、ライオンズクラブは月2回の例会開催となります。』

両者の違いについて、もう少し詳しく眺めてみることにしましょう。大きな違いは

奉仕活動の取り組み方の違い

ライオンズクラブが奉仕活動を行う時には「我々は奉仕する (We Serve)」。すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に基金を拠出します。原則として個人個人では奉仕しません。ロータリークラブは、全員がまとまって行う奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」です。すなわち、「私は奉仕する (I Serve)」[自己の責任と判断において、自分の職業を通して、社会に、世界に奉仕しよう]という考え方が基本となっています。

入会審査の違い

入会における審査の厳しさが両クラブの違いともいわれています。たとえばライオンズクラブには中小、零細企業の社長さんも割と簡単に入会されていますが、ロータリークラブの場合は、社長や会長として第一線で働く必要のない規模の会社経営者を始め、上場企業の支店長、医師、弁護士など、地域の各業界を代表する原則1業種1人(最近緩和されて5名以内)の人物が理事会の審査、承認を経て入会が認められるという厳格さがあります。いずれにせよ、社会貢献に対する知名度や人格が求められることに変わりはありません。

その他の違い (※ 個人的見解を含みます)

- 設立時の目的の違い…LCは奉仕活動&親睦に対し、RCは互恵主義で外部への奉仕は後から追加(シカゴRCの1906年に追加された定款第2条の目的の第3項)
- 例会の回数…RCは原則毎週1回の昼食会、LCは月2回で例会は夜。
- LCは地域意識が強く、地域の青少年育成への貢献度は高い。
- 広報面ではLCの方が一歩先であり、地域の認知度も高い。
- アメリカでは、RC会員には共和党支持者が多く、LC会員には民主党支持者が多い。

○LCはチャリティ事業等で資金潤沢。アイバンク、献血、美化活動が有名。

両者の違いについての素朴な疑問

★ライオンズクラブは猛獣のライオンと関係ある？

ライオンズクラブは猛獣のライオンからの由来ではありません。スローガンである、「Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る)」の頭文字をとったもので、偉大な行為、高い理想を象徴しています。

★「LCはお金をかけるが、RCはお金をかけない」と言われる理由

LCの創立者メルビン・ジョーンズは元々RCの会員でしたが、RC内で会の運営にあたって意見が分かれた時、メルビン・ジョーンズは「奉仕活動に費用が発生するのは当然。ある程度の支出は仕方がない」が持論でしたが、これに対して「RCは職業を通じての奉仕を理念としている。お金はかけるべきではない」との意見が大勢を占めたことから、メルビン・ジョーンズはRCを離れ、LCを設立し、寄付・寄贈を中心とした奉仕活動を展開したことから来ているようです。確かにLCはお金をかけた活動をしている、とのイメージがあります。地域の主だった場所には○○ライオンズクラブ寄贈と銘打ったモニュメントや看板・横断幕が目立ちます。これに対してRCは街中でもなかなか○○ロータリークラブというモノには巡りあえません。LCはDonation (寄付・寄贈) を重んじる、というイメージが先行しているのは確かでしょう。

★会員増強の際に両者はライバル？

必ず出る話題では「私の町ではLCが3つあるのにRCは1つしかない。町の事業経営者の大半はLCに取られて、RCは3人くらいで細々と運営している」という嘆きがあります。都市部では会員増強のライバルとしてLCはさほど意識されません。これは、RCは大都市圏を中心にクラブ拡大を続けてきたのに対し、LCは地方都市や過疎地での活動に先鞭を付けてきたから、との説もあります。こうしたことから、昨今のロータリアンからは「もっとお金をかけて派手にPRしなければ会員も集まらない。知る人ぞ知る奉仕団体のまま終わってしまうのでは」と危惧する声も一部にあります。

★両者の共通点は？

RCにローターアクトがあるように、LCにはレオクラブがあります。また、留学生の支援制度も同様なものがあります。

★職業奉仕はロータリーだけの金看板か？

「職業奉仕という理念は、数ある奉仕団体の中でロータリーだけが持っており、職業奉仕という考え方を持つことがロータリーの特徴だ」これはロータリアンの共通認識です。しかしこの言葉から一つの誤解が生まれたとも言われています。「ロータリアンでなければ職業奉仕は出来ない」とか、「ロータリアン以外の人は職業奉仕をしていない」という考え方です。果たしてそうでしょうか。ライオンズにも「ライオンズ道徳綱領」があり、職業奉仕の理念を持っている奉仕団体であることを忘れてはなりません。

(文責/丹治正博)

③福島いのちの電話への支援(視聴覚機器の贈呈)

④パンダハウスへの支援(例会における募金活動)

また、自然環境保護の観点から、猪苗代湖の水草除去活動にも参加協力致しました。

●**青少年奉仕委員会** 森岡 幸江 委員長



今年度は大きな大会(ローターアクトの全国大会、インターアクトのリーダー研修会)がありましたが、特にインターアクトクラブリーダー研修会では、ホストクラブを務め、丹治会長、佐藤朋幸会員には講師をお務め頂きました。そのほかライラ研修会(3名参加)、三者合同新世代会議の開催、優良ローターアクター認定書の授与など、予定された事業は滞り無く実施することが出来ました。

●**国際奉仕委員会** 後藤 忠久 委員長



双子クラブであるフィリピン・マリキナロータリークラブの周年事業への代表出席、マリキナメンバー来福に伴う接待、数年来の懸案であったマリキナ市の身障者センター開設に向けての準備などを実施しました。また、次年度、65周年事業の一環として、台湾文湖ロータリークラブとの友好クラブ締結に向けての準備で台湾を訪問致しました。

●**米山記念奨学会委員会** 日比野恒夫 委員長



年度目標の一人平均15,000円以上(普通寄付5,000円 特別寄付10,000円)を達成することが出来ました。年度後半から地元福島大学のベトナム人留学生を夜間例会に招待致しました。また、三島市の米山梅吉記念館を訪問して参りました。今年の4月からは米山奨学生としてベトナム人のヴ・クアン・ジュー・ファンさん(カウンセラーは金子会員)のお世話をすることになりました。

●**ロータリー財団委員会** 安藤健次郎 委員長



皆様のご協力のお蔭で、年度目標の年次寄付一人当たり150ドルを達成することが出来ました。

●**戦略計画委員会** 加藤 義朋 委員長



RIでも「継続性」という言葉が聞かれるようになりました。この委員会は当初、長期戦略委員会と呼ばれていましたが、今は戦略計画委員会に変更されました。(英語名称は変わらず)今年度は私が委員長を務めましたが、次年度は紺野直前会長が委員長、幡会長が副委員長を務めることになっており、中長期的展望に立ってクラブの事業や方向性を検討する予定です。

坪井 大雄 幹事



1年間クラブの運営に関しまして、もう少し丁寧な運営を心掛けるべきと、反省するところも多々ございましたが、会員皆様にはご協力を頂き、まことに有難うございました。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●**来訪ロータリアン**

井上 善夫 様(二本松RC) 呉竹 弘吉 様(福島中央RC)

例会プログラムのご案内

- 7月9日(木) 12:30~「辰巳屋」
鈴木和夫 東北第一分区ガバナー補佐 クラブ訪問
*プログラム案内 *「友」紹介 *血圧測定
- 7月16日(木) 12:30~「辰巳屋」
幡 研一 会長、箱岩 偉 幹事 スピーチ
- 7月23日(木) 18:30~「辰巳屋」
新旧役員慰労夜間例会
- 7月30日(木) 12:30~「辰巳屋」
クラブ協議会 *酒井ガバナー公式訪問前



今井吉之 会員 退会挨拶

健康上の理由により、退会のご挨拶がありました。

●**メッセージ** 渡邊 又夫 会員(ニコニコBOXより)

今井吉之さんの退会を知り驚きました。クラブの会員歴49年、弁護士会の大御所としての存在は、私達同期生の誇りでした。これからのご健勝を祈念し、永年のロータリー活動に心からの敬意を表します。

ニコニコBOX報告

〈報告〉松浦 敬裕 委員

本日のニコニコBOX投入額 36件 ¥92,000 累計 ¥2,535,000

井高志/加藤義朋/清水義之/森川英治/浦部浩/古俣猛/幡研一/大関静江(事務局)

○坪井大雄 幹事
一年間、ご指導ご協力ありがとうございました。また何かと迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。
○他に/氏川守義/草野武夫/金子與志人/松浦啓裕/安藤健次郎/田沼紀美子/今井康/佐藤英典/加納武志/後藤洋伸/森岡幸江/土屋敦雄/門脇涉/鶴丸直久/紺野晴郎/相良元章/信国一朗/三宅喬/増子勉/佐藤朋幸/菅野晋/森洋一/内池浩/藤

○井上善夫 様(二本松RC)
本日より中合七階工芸サロンにてふくしまの現代工芸作家を開催しておりますので是非ご覧頂ければ嬉しいです。
○丹治正博 会長
今年度の最終例会を無事に迎えることが出来ました。私と坪井幹事、そして今期役員に対し、賜りました会員皆様、事務局大関さんのご支援ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

○鉢村 健様(日本銀行元福島支店長)
丹治会長殿
大変ご無沙汰をしております。先日東京交歓会では懐かしいメンバーの方々とお目にかかれてとても嬉しく思いました。沖縄からのフライトが遅くなり二次会からの参加で恐縮しました。昨年は予期せぬことが重なり皆様にもご心配を頂きましたが、十ヶ月の時を経て元気に新しい活動を始めております。昔からご縁のある会社の上席執行役員となり、友人からの依頼で一部上場企業の非常勤監査役にも就任しました。今後ともご縁ある「大好きな福島」とのつながりを大切にしたいと考えていますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。皆様お元気でまたお会いしましょう。 平成二十七年六月二十四日

パンダハウス募金ご報告 (森川英治社会奉仕委員長)

6月25日 7,785円

累計258,010円